

**ジュエリーやオーダーメイドに関する広報通信 Vol.19 を 8月29日（水）発行**

## ジュエリーのリフォーム相談会 レポート

**お悩みタイプ・本物かどうか、壊れている、サイズが合わない、デザインが好みでない、  
ジュエリーリモデルカウンセラー1級・島みずきがアドバイス**

全国にジュエリー店舗を展開するオーダーメイド企業の株式会社ケイ・ウノ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：久野雅彦、以下「ケイ・ウノ」）は、ジュエリーやオーダーメイドに関する、さまざまなヒト・モノ・コトの最新情報を紹介するニュースレター「ケイウノオーダーメイド広報通信 Vol.19」を8月29日（水）に発行します。

今回は、7月31日にケイウノ自由が丘店で開催した「リフォーム相談会」の内容をレポートしました。

### <ケイウノオーダーメイド広報通信 Vol.19 について>

- 発行社：株式会社ケイ・ウノ
- 発行日：第19号／2018年8月29日（水）
- 配布対象：報道機関、業界関係者、従業員、取引先など
- 内容：
  - ・ さまざまなジュエリーの悩みを解決して多彩に楽しんでいただくことお手伝いしたい
  - ・ ジュエリーにのしられる所有者のお人柄
  - ・ ジュエリーのお悩み。わからない・合わない・使えない・好みじゃない
  - ・ 人それぞれのジュエリーの楽しみ方をお手伝い
  - ・ 8月の誕生石「ペリドット」をあしらったベビーリングの紹介

### <ケイウノオーダーメイド広報通信について>

「ジュエリー」は、一般的には“高級”や“特別”なイメージが強く、その価値や違い、製作過程など実態についてはよく知られていません。ケイ・ウノでは、ジュエリーやオーダーメイドを通じて「ものづくり日本」といわれる技術力をはじめ、人にとってどのような価値（社会的&歴史なども含めて）を提供できるか、時事や季節要因と連動した旬な情報として、事例を交えながら情報発信します。そして広く一般に認知される環境作りを目指したいと考えています。

### ■ 株式会社ケイ・ウノ <https://www.k-uno.co.jp/>

「お客さまに特別な感動と喜びを贈り続ける」というコンセプトのもと、デザイン・製作・販売の一貫体制をとり、宝飾品のオーダーメイド専門店として国内で唯一全国展開するブランドです。

更なるお客さまの満足を目指し、ジュエリーだけでなく時計・革製品・衣類など、取扱商品の幅を広げています。オーダーメイドで多くのモノが手に入る「オーダーメイド百貨店」を目指し、「オーダーメイドの新しい文化を作る」ことを目標としています。

会社名：株式会社ケイ・ウノ  
本社所在地：愛知県名古屋市千種区猫洞通 3-9 TEL：052-763-6159 FAX：052-763-6169  
オフィス：東京都目黒区自由が丘 2-15-22 TEL：03-5731-7847 FAX：03-5731-7852  
代表取締役：久野 雅彦  
資本金：1億1240万円  
設立日：1991年3月29日（創業1981年）  
従業員：554名（2018年4月現在）  
ショップ：北海道1・東北1・関東12・東海9・北陸2・関西5・中国2・九州1・沖縄1、  
オンラインショップ（2018年4月現在）  
事業内容：オーダーメイドジュエリーの製造販売・リフォーム・修理、時計・革小物・スーツ・シャツ・靴などの  
オーダーメイドを展開

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ケイ・ウノ自由が丘オフィス 広報／TEL.03-5731-7847 FAX.03-5731-7852

担当：川村 press@k-uno.co.jp、050-3771-5870



# K.UNO NEWS LETTER

## Vol. 19

ケイウノは全国に店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。  
この広報通信では、毎月1回、ケイ・ウノのジュエリーやオーダーメイドに関する  
さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けします。



さまざまなジュエリーの悩みを解決して  
多彩に楽しんでいただくことをお手伝いしたいと思います



### 島みずき

ケイウノ コンシェルジュ  
東京都出身。2003年入社。入社以来、コンシェルジュとして多くのお客様に  
ジュエリーの魅力を提案し続けている。  
ジュエリーモデルカウンセラー1級認定者

今回は7月31日にケイウノ自由が丘店で行われた「ジュエリーのリフォーム相談会」のレポートをお届けします。  
近年、ケイ・ウノでは「母から譲り受けたダイヤモンドリングがあるが、デザインが古くて使えない」「祖母の形見のジュエリーがたくさんあるけど、どれが本物かわからない」と、宝石・貴金属の整理や処分などのご相談をいただくことが増えてまいりました。

ジュエリーを宝飾品としての価値だけでなく、それにまつわる「人」に対する想いや記憶を有する宝物であると考え、ケイ・ウノでは、「ジュエリーのリフォーム」をおすすめしています。

しかし、ジュエリーリフォームの実態はあまり知られていないのも事実。そこで、お客様にご持参いただいたジュエリーを前に、リフォーム相談はどのようなものなのか、実際にケイ・ウノスタッフが対応させていただく様子を、メディアの方々にもご覧いただくという形で相談会が始まりました。

## ジュエリーにしのばれる 所有者のお人柄



リフォームについて語るコンシェルジュ島

相談会当日。メンバーはジュエリーをお持ちいただいたお客さまKさん、メディア関係者2名、そしてケイ・ウノからはコンシェルジュ島とデザイナー川田という構成。  
テーブルにはKさんがご持参くださったお母さまの形見というジュエリーがずらりと並び、そのボリュームと豪華さは思わず感嘆の声が上がるほど。

島は、ケイ・ウノで16年目を迎えるコンシェルジュ。「ジュエリーリモデルカウンセラー1級認定※」の資格を持っています。

長年、ジュエリーリフォームに携わってきた島が思うのは、「ジュエリーをリフォームすることは素敵な生き方につながる」ということ。



当日お持ちいただいたジュエリーの数々

「素敵な生き方というところ、少し大げさに聞こえるかもしれませんが、リフォームしたジュエリーを身につけることで、ふとした時に譲ってくださった方々に想いをはせたり、感謝をしたりすることができる。それは素敵なことだと思うんですね」

確かに、この日テーブルに並んだジュエリーの数々を眺めているだけでも、Kさんのお母さまの姿が浮かんでくるような気がします。記者のお一人からも「お母さまには実際にはお会いしたことがないのに、こうしてジュエリーを見ているとお人柄がしのばれて、なんだか親しみがわいてくる気がします」という感想も…。



一つひとつのジュエリーに向き合って悩みにお応えしていく

**ジュエリーのお悩み。  
わからない・合わない・使えない・  
好みじゃない**

ご協力いただいたKさんによれば、「母の形見は大切ですが、全て取っておいたところでもそのままでは使えません。でもどれを残せばいいのかわからないし、いいなと思うものがあっても、つけ方がよくわかりません」とのこと。

そこでお悩みをざっくり分けると、次の4タイプになりました。

- 1.. 貴金属が本物かどうかかわからない
- 2.. サイズが合わない・留め具が壊れている・チェーンが切れている
- 3.. デザインは嫌いではないが、コーディネートがピンとこない
- 4.. デザインが古くて好みに合わない



ペンダントはチェーンを変えることでイメージが変わる

これに対して、島は「使うか・使わないか」を二つずつヒアリングしながら進めていきます。

1については、刻印などを見ながら貴金属かそうでないかを見極めていきます。ケイ・ウノで判別できるものはその場で、わかりにくいものはお預かりをして鑑定機関に出して鑑別します。

ちなみに、ケイ・ウノでの判別は無料。 「お持ち込みいただく量に関わらず、ケイ・ウノで判別する費用はかかりません。どれを持っていったのか悩むといった場合は、どうぞまとめてお持ちください」と島。

なお、貴金属と判明した後ジュエリーとしては不要という場合は、ケイ・ウノで買い取り、再利用が可能です。お得な特別制度もあるのですがぜひご相談を。また、石については、ケイ・ウノでお預かりして専門の外部機関に判別を依頼することも可能です※※。

次は2。指輪のサイズが合わなかつたり、壊れていたりするものは、たいていの場合修理することが可能です。留め具やチェーンを新しくすることでずいぶん印象が変わります。また、ネックレスは長さによってもイメージが変わるので、チョーカー風に短くしたり、間にパールや雰囲気異なる金属をはさんで長くしてみるのもおススメとのこと。

3の場合はつけ方自体をアドバイス。例えば、色が濃いめで顔が暗く見えてしまうというネックレスには、パールなどを重ねつけることで華やかな印象に。時には、ジュエリーに合わせた洋服のコーディネートをするのもあるそうです。

ケイ・ウノのリフォームは、ジュエリーを判別・修理するだけでなく、つけ方やスタイリングなどもアドバイスさせていただきます。



写真中央のマリッジリングをもとに、彫りや宝石をあしらったデザインをご提案



コーディネートアドバイスを

さて、リフォームに関して最も多いお悩みは4。ジュエリーには流行があり、レトロなものに逆新鮮というところもありますが、そうでない場合の方が多いようです。

プレーンなリングに彫りを施したり、石を活かしてデザインを新しくしたり、ジュエリー自体をリフォームすることはもちろんですが、島が提案するのは、複数のジュエリーを組み合わせて新しくジュエリーをつくり出すこと。

「それぞれのジュエリーを個別にリフォームすると個数が多くなって費用がかかるため、小さなペンダントトップの石を組み合わせて、1つのリングやブローチにしたり。組み合わせで新しい魅力を発見するのも、リフォームの新しい楽しみ方としておすすです」

## 人それぞれのジュエリーの 楽しみ方をお手伝い

島が様々な手法を提案するなか、デザイナー川田はその場でリフォームのデザイン画を次々と提案。お客さまのジュエリーを拝見し、要望を伺いながらデザイン画を起こしていく、この手法はケイ・ウノ独自のもの。デザイナー提案をしながら、島と共につけ方のアドバイスも行います。

例えば、洋服とのコーディネートについては、「ラウンドネックのトップスに、同じようなラウンドのネックレスだとなじみ過ぎてぼやけてしまいません。なので、シャープな印象のボートネックに合わせることでネックレスが際立って、印象ががらりと変わります」という具合。デザイナー画を熱心にご覧になっていたKさんから、「これは私の好きなデザインですね」とうれしそうなお声が上がりました。

ご紹介したように、リフォームの手法は実に多彩。ケイ・ウノでは、予算や希望によって、さまざまな形をご提案することが可能です。

最後に島からこんなコメントをお伝えし、相談会は終了しました。「鑑別して仮にイミテーションだった場合、他店によってはリフォームができないというところもあるのですが、ケイ・ウノはお引き受けしています。貴金属や石が本物かどうかは、判断基準の一つとして大切ですが、それと想い出とは別なのではと思います。

実際に、本物でなかった場合でも、大事な想い出があるから使えるようにしたいという方も少なくありません。でも、その一方で、本物でないのならリフォームのコストをかけたくないという方も。どれが正解というのはなく、それぞれの考え方で、まずは本物かどうかはつきりさせることから始めてはいかがでしょうか。

なお、ネックレスのチェーンがうっかりからまってしまつてほどこけないといった場合もどうぞお気軽に。多彩なお客様の多彩なジュエリーにお会いできることを、心から楽しみにしております」



お持ちいただいたジュエリーにインスパイアされたデザイン画の数々とデッサン中の川田

※お客様からお持ちいただいたジュエリーの価値を正確に見極め、修理やつくり変えなどを的確にアドバイスできる能力を身につけたものが持つ資格  
※※ケイ・ウノ以外の外部機関に鑑別を依頼した場合は、費用が発生します。

ケイ・ウノ リフォームブログ  
<https://www.k-uno.co.jp/wp/tag/reform/>  
これまでのリフォーム例が掲載されています。  
ぜひご覧ください。



## 8月の誕生石 「ペリドット」

赤ちゃんのお誕生を祝うベビーリングにあしらったのは、透明感のあるグリーンが涼しげなペリドット。ベビーリングは最近ご注文が増えてきたジュエリーのひとつ。お子様が小さいうちはお母様のペンダントトップにしたり、大きくなったら改めてプレゼントしたり、お子様の成長に合わせて楽しんでいただけます。

